

ジャクソンリース型 T - ピース用圧力計付圧抜きバルブ

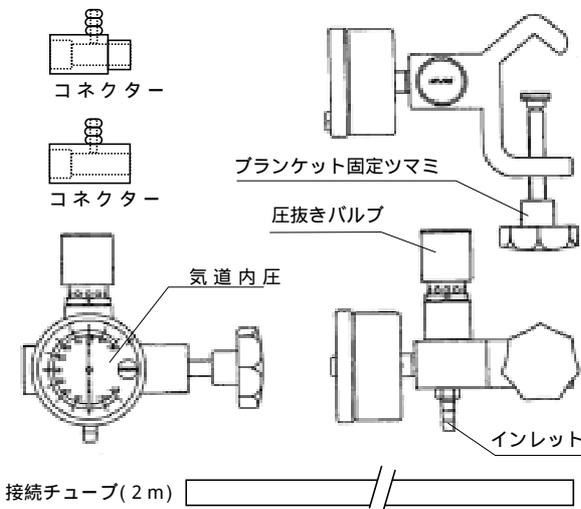
【禁忌・禁止】

- 併用禁忌
本品をメラジャクソンリース型 T ピース以外には使用しないこと。[性能・安全性を保証できない]

【形状・構造等】

本品は、メラジャクソンリース型 T ピースを使用して手動人工呼吸を行うとき、気道内圧の上限を一定以下に抑えるために過剰圧を逃がす圧抜き弁 (A P Lバルブ) と、気道内圧計とを一体化し、取り付け用の金具を加えたものである。

1. 形状・構造



2. 定格

- A P Lバルブ方式: パネ力調節式
- 気道内圧計方式: プルドン管型
測定範囲: - 10 ~ 80 cmH₂O
- 調整範囲: 10 ~ 30 cmH₂O (エア-30 L/min 時)

【性能、使用目的、効能又は効果】

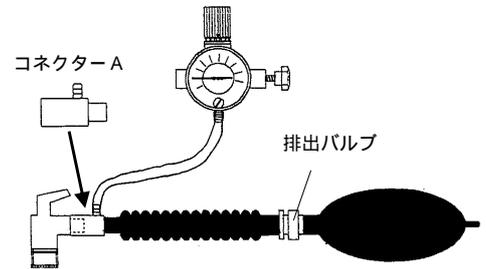
1. 使用目的

新生児集中治療室での人工呼吸の際、呼吸バッグからの圧力が患者の肺に過剰にかかり過ぎないように、安全のため医師が必要に応じて圧力を抜くためのバルブ。

【操作方法又は使用方法等(用法・用量を含む)】

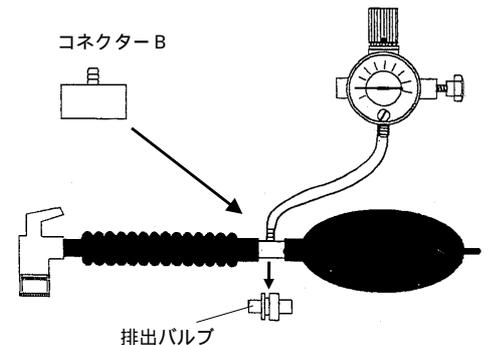
1. T ピース側に接続の場合

- 図の様に、T ピースと蛇管との間にコネクター A を接続する。
- コネクター A と本品のインレット間を接続チューブで接続する。
- 使用するときには、T ピースの排出バルブを必ず閉める。
- 設定したい圧になるように A P Lバルブを調節する。



2. バック側に接続の場合

- 蛇管と呼吸バックとの間の排出バルブをはずし、そこにコネクター B を接続する。
- コネクター B と本品のインレット間を接続チューブで接続する。設定したい圧になるように A P Lバルブを調節する。
- 設定したい圧になるように A P Lバルブを調整する。



【使用上の注意】

関連注意 接続するメラジャクソンリース型 T ピース及び麻酔回路/呼吸器は、単品医療用具なので それぞれの添付文書も参照すること。

- 新鮮ガスの流量及び酸素濃度を適切に設定すること。
[流量が不足すると C O₂ の再呼吸が多くなり、酸素濃度が低いと、吸気酸素濃度も低下する]
- 使用後は、本品を水洗い又は消毒を行い再使用に備えること。
[感染防止]

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 保管環境

- 水のかからない場所に保管すること。
- 気圧・温度・湿度・風通し・日光・ほこり・塩分・イオウ分等を含んだ空気等により悪影響の生ずる恐れのないこと。
- 傾斜・振動・衝撃等(運搬時を含む)から影響を受けないこと。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所は避けること。

【包装】

- 1 セット(本体・コネクター A ・コネクター B ・接続チューブ) / 1 包装箱に収納。

【製造業者又は輸入販売業者の氏名又は名称及び住所等】

*製造販売業者及び製造業者：

泉工医科工業株式会社

埼玉県春日部市浜川戸 2 - 1 1 - 1

*問い合わせ先：

本社商品部

TEL.03-3812-3254 FAX.03-3815-7011